平成２４年２月２０日

各　　位

上場会社名　**扶桑薬品工業株式会社**
本社所在地　大阪市中央区道修町１丁目７番 10 号
コード番号　４５３８
上場取引所　大証・東証　市場第一部
情報責任者　取締役総務本部長　為　房　正　信
問合わせ先　取締役研究開発センター所長
戸　田　隆　雄
電　　話　（０６）６９６９－３１３１

株式会社スリー・ディー・マトリックスとの粘膜隆起材（TDM-641）に関する
独占販売権許諾契約締結のお知らせ

株式会社スリー・ディー・マトリックス（以下３DM という）で、開発中の粘膜隆起材製品（開発コード：TDM-641）に関して、当社は国内における独占販売権の取得について合意し、本日、契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

本契約による両社の提携内容は、３DM が新医療機器として開発している本製品について当社が国内における独占販売権を取得し、３DM に対して契約一時金及び開発段階に合わせたマイルストーンを支払い、本製品の製造販売承認取得後は、本製品を当社が独占的に取り扱い、全国の医療機関への販売を行うものであります。

３DM が開発する粘膜隆起材（TDM-641）は、現在、製造販売承認申請中の吸収性局所止血材（TDM-621）[同製品も当社が国内独占販売権を持つ]と同成分で、人体の構成成分である３種のアミノ酸から成る自己組織化ペプチドを原料としております。自己組織化ペプチドは生体適合性が高く、化学合成品であることから、ヒトや動物に由来の物質を完全に排除できることが特長であります。

粘膜隆起材（TDM-641）の開発は、３DM において自己組織化ペプチドを活用した医療機器製品分野のラインナップの充実を図ると共に、EMR[※1]やESD[※2]での出血を使用対象に含む止血材（TDM-621）との販売チャネルを共有するなど、当社の営業戦略上のシナジー効果を高めるものであります。EMR や ESD は国内で年間約 80 万件以上実施されており、本製品の安全性や製品特性を活かし、速やかな普及により、確固たる製品ポジションを獲得することを目指してまいります。

現在、３DM は粘膜隆起材（TDM-641）を医療機器として開発を進めており、平成 25 年４月期より臨床試験を開始する予定ですが、一般的な医薬品の開発と比較して短期間かつ低コストで上市を目指せることから、平成 26 年４月期から平成 27 年４月期にかけて新医療機器として製造販売承認を取得し、特定保険医療材料としての適用を受けて販売を開始することを目指しております。なお、現段階におきましては、本件による平成 24 年３月期通期の業績予想への影響は軽微であります。

以　上

※1　EMR（内視鏡的粘膜切除術）

※2　ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）